



わが国がもっている基本的な底力

- 豊富な民間資金、世界に冠たる産業技術力、勤勉で協力し合うことで大きな力を発揮することができる国民性
- 先人から引き継いだ国土、国土をマネジメントする技術
- アジアと太平洋地域を結ぶ要の位置

国民が自信を取り戻し、明るい未来へ進んでいくための国土づくりの羅針盤が必要！

日本創生国土計画

【目標】

- わが国の地勢的条件、地政的条件、産業、歴史・文化等をポジティブに再認識
→国民に希望を与え、民の投資意欲が湧き立つような具体的な国土の将来像、国民の生活像を示す
- 成長することで、わが国の国土、社会、文化等を良好に持続し、次世代に継承する。
 - ヒト・モノ・カネ・情報を国内外から呼び込んで稼いでいける国となるように、国土に積極的にはたらきかける。

【計画期間】

次世代に国土を良好に引き継ぐことがわが世代の務め
そのなかでの5～10年以内に達成できる国土・社会資本の姿、国民のライフスタイルを示す。

【日本創生国土計画の理念】

「成長する底力のある国」 「国民の暮らしの安心あつての成長」 「国内の連携と外国との競争」

成長

- ・24時間動く世界経済でアジアが担う8時間の主役、日本
- ・三大都市圏の役割分担、地方ブロックの中核機能強化、地方都市間の連携
- ・国土のインテリジェント化等、新たな投資や技術開発の促進
- ・質の高い教育を受ける機会、意欲と能力のある人材の社会参画 など
- ・世界から競争する者が集まるアジアの中心都市、東京
- ・ヒト・モノ・情報の自律的で協調した強い全国ネットワークの展開
- ・海洋資源、森林資源等の新たな活性化資源の開発

安心

- ・災害からの強い回復力のある国
- ・高齢者・障害者の社会参加が可能な地域
- ・社会資本の信頼性の確保
- ・大規模災害を想定した緊急時適応力のある国
- ・若い世代が働けて子育てができる「地元」の再生
- ・エネルギーの安定的供給 など
- ・教育・福祉・医療等の生活サービスの質を担保
- ・地域産業の活性化による地域の健全な持続

国際

- ・国際競争力の高い空港・港湾の整備と国内の円滑移動の促進
- ・諸外国での諸問題に対するわが国の経験と技術を活かした技術協力、研究交流・国際貢献
- ・日本古来の歴史や景観に加え、食文化やアニメなど新しい日本発コンテンツの発信 など
- ・地方の空港・港湾の有効活用

【日本創生国土計画を実現するために】

＜インフラの改善と人材戦略の確立＞

「私」の力・「民」の力を最大限に発揮させるため、「公」、「共」の領域としてのインフラの強化
新しい発想の源泉となる人材～人材の能力活用、モチベーションの付与、育成

- 制度インフラの改善**・・・政策、法令や技術基準、組織、慣習など
→非常時モードの制度化、公共事業の判断基準の見直し、国土に関するデジタルデータベースの整備など
- 装置インフラの改善**・・・道路、鉄道、空港、港湾、通信施設、ライフライン、防災施設など
→地域ごとの備えるべきインフラ性能の明確化、多機能インフラの整備、ICT活用によるインフラの信頼性向上など

＜実現への第一歩＞

成長するために国土を積極的に変えていく意思表示

■日本創生国土計画のアピール

- 「私」「民」の力を呼び覚まし、計画の実現に向けて参加を誘引
- 世界にわが国が変わること、変わり得ることをアピール

■先導的プロジェクト

- 日本創生国土計画のアピール戦略の一つに位置づけ。
- 計画実現の先兵として国内の投資マインドを湧き起こす。諸外国からもヒト・モノ・カネ・情報を呼び込む。